

～「ロッキーブック」の取組みについて～

平素より、私ども静岡ろうきんをご愛顧いただき、誠にありがとうございます。
す。

また、本日は大変お忙しい中、「ロッキーブック」の寄贈にあたり、お時間を
いただきましたことに心から感謝申し上げます。

静岡ろうきんは、創立以来、「働く人の夢と共感を創造する協同組織の福祉金
融機関」として、働く人とその家族に寄り添い、ライフプランを金融面からサポ
ートし、事業で生まれた利益は広く社会福祉のために還元してまいりました。

ここ数年、国連が提唱する「誰ひとり取り残さない」をスローガンに掲げる S
D G s について多くの企業・団体で取組みが実践されていますが、静岡ろうき
んは創立当初から「人々が喜びをもって共生できる社会の実現」をめざし、働く
人とともに歩み続けてきております。

静岡ろうきんでは、さらなる地域社会への貢献の為、「静岡ろうきん S D G s
実践方針」を定め、取組みを進めております。昨年引き続き、本日寄贈させて
いただく「ロッキーブック」は、「静岡ろうきん S D G s 実践方針」の地域社会
への貢献活動の 1 つの柱である子育て支援活動の一環として、静岡県内の県立
特別支援学校 23 校に 250 冊の図書を寄贈するものです。

寄贈する図書には、人と人とのつながりや助け合いを大切にする協同組織の
考えから、本一冊、一冊に運営委員や職員がメッセージをしるしたステッカー
をつけさせていただきました。

結びに、コロナ禍で閉塞する世の中で、子どもたちがこの「ロッキーブック」
によって明るい学校生活を送る一助になればと切に願いまして、寄贈にあたる
メッセージとさせていただきます。

2021年 2月 2日
静岡県労働金庫
理事長 古川 正明